

ました。

これまで、地域からは「一日数便でも旅客営業の存続を」という強い要望がありましたので、小坂製錬及び同和鉱業本社と交渉を続けてきました。しかし、旅客数の大幅な減少や急激な円高、メタル市況の低迷などによって小坂製錬の経営は現在、大変厳しい状況で、今回の合理化は会社の存亡をかけたの実施であることから、会社側からは「ぜひ理解して欲しい」という強い決意をあらためて示されました。

また市では、存続の大きな課題である旅客営業の赤字補てん等について、県及び小坂町と協議してきましたが、当該路線は今後も乗客の増加が見込めず、赤字が増え



9月末日で旅客営業を廃止する小坂鉄道

続けることが予想されます。市全体から見ても財政的な負担は困難なことから、地域及び関係団体との話し合いの中で要望があった、代替輸送措置ほか六項目の事項を会社に申し入れたうえで、八月三十一日、廃止について同意しました。

市では今後、これら六項目の要望事項実現のため、最大限の努力をしていきますので、よろしくご理解くださいますようお願いいたします。

地域経済基盤

強化対策推進地域の

選定について

最近のわが国経済は、バブル経済の崩壊や円高等の影響から停滞傾向で推移しており、また、雇用情勢も製造業を中心に厳しさが見られます。

こうした景気の低迷は、地域経済にも深刻な影響を与えており、活力ある安定的な地域経済基盤を確立して地域社会の均衡ある発展を図ることは、地方公共団体にとつてますます重要な課題になっています。

このため国では、今年度から新たに「地域経済基盤強化対策」を推進することになりました。この制度は、特に地域経済基盤強化のための施策推進が必要と認められる地域を選定し、地方公共団体が

中心となって、地域の人材、技術、情報、資源等を効果的に活用した経済振興策を、広域のかつ総合的に推進するものです。それによって地域経済の基盤強化と、将来にわたる地域経済発展の基礎作りを図ります。

地域選定を受けると、公共的な施設整備への地方債発行や、地方交付税算定の際の特例措置があるほか、民間企業の設備投資への特別融資制度も適用されます。そのため本市では、大館周辺広域圏が地域選定されるよう、これまで県と国に働きかけていたもので、去る八月八日付で正式に本広域圏が地域選定されました。全国で三十五地域が選定されています。

この地域選定によって、大館周辺広域市町村圏組合と共同で、地域経済活性化のための基盤強化計画を策定することになりますので、よろしくご理解、ご協力をお願いいたします。

農作物の生育状況について

市内の農作物は、春以来の好天により順調に生育しています。

水稲は、田植え期以降の気象経過が良好で草丈が非常に長くなったため、下位節間が伸びている圃場を中心に、八月十五日の降雨と八月三十一日の局地的な集中豪雨により、一部の地域で倒伏が見られました。今後も台風など風雨



による倒伏には十分な注意が必要です。また、病害虫の発生状況ですが、本年は昨年よりも病被害の経験からオリゼメイト粒剤の使用が増えたことや、七月の高温乾燥の気象条件等によって葉いもち病の発生が抑制されました。さらに出穂期も高温乾燥気味に推移したため、穂いもち病の発生も少なく、八月十五日現在の作況指数は一〇二の「やや良」となっています。

産のヤマノイモは降水不足による肥大減のための減収、ネギは軟腐病の発生による減収が見込まれています。また、果樹のリンゴ、ナシについても肥大減による減収が見込まれています。

粕田・大森簡易水道の渇水緩和について

今年の夏は、連日の干天、猛暑のため、全国各地で渇水による深刻な事態が生じました。本市でも特に粕田・大森簡易水道の伏流水の渇水が懸念され、当該地区で七月二十七日から平常時の五〇％に給水制限をしていました。しかし、好天がさらに長引くと予想されたので、緩和策として、遊休化している花岡町根井下の花岡鉱業所のポンプ場を借用してポンプ仮設と配水管の敷設工事を行い、八月十一日から十三森・鳥内地区約百戸に給水を開始し、給水制限を解除しました。その後は降雨もあり、現在は平常通りの給水体制になっています。

その他の行政報告

- ▽94大館大文字まつりについて
- ▽雪沢小学校児童の交通事故について
- ▽公共事業の発注及び進捗状況について